



りんご栽培三十数年。冬の枝の雪落としの大変さも、お客さんからの「おいしかったよ」の声に報われる。(田茂木野 川村富子さん)

Un Jour

アンジュール

「アンジュール」は仏語で「ある日」の意味です

特集

今どき農業な女たち

～アグリカルチャーのすすめ～

最近のメディアで、いきいきと農業に取り組む女性たちにしばしば出会います。道の駅などに立ち寄れば、女性たち手作りの商品や農産物、そして積極的に売っているのも女性たち。

「女性たちの元気によって、町が変わり始めている」(平成8年「名川チェリーセンター101人会」の活動紹介で…アンジュール創刊号)、「農業は、時間に縛られない仕事だからいい」(平成11年家族経営協定を結んだ工藤さん…アンジュール13号)。今までアンジュールがお届けした情報にも、ポジティブな農業女性が登場していました。

女性たちの参画が農業を変え、社会を変えているのではないのでしょうか。仕事と生活の調和(ワークライフバランス)という側面からも注目の職業でしょう。そこで、特集は女性と農業を取り上げました。家庭菜園の楽しみもご紹介しています。

・アップルヒルの朝摘み野菜や漬物・花・ジャムを買うのが楽しみ! 生産者も売り場の人も女性が中心で、元気をたくさん買える気がして、美味しく食べています。
(50代・女性・週末買出し好き)

・ロコミで聞こえてきた主婦が始めた地産地消のレストラン
「女性が元気になると、青森が元気になる!」はず…。
(40代・女性・けっぱるかーさん応援団)

・青森市って、食料自給率が63%
なんだって!
それって、スゴくない?!
(10代・女性・自然大好き娘)

・自給自足とまではいかないけれど、子どもに手がからなくなったら妻と二人で、畑をやっています。会社に行く前に、車で10分。今は野菜の収穫に忙しい毎日です。
(40代・男性・やっと妻に遊んでもらえる夫)

アンジュール的 私の言の葉

・子育てするなら、田舎が一番! ダンナは会社勤めだけと、両親が田んぼや畑をやっています。農家の嫁はできないけれど、子育てサークル仲間と「稲刈り大会」をやったり、お米を販売したりもしています。ジイちゃんの仕事はお米は安心して美味しいよ!
(40代・女性・いつかコミュニティカフェをやりたい)

・青森市が男女共同参画都市を宣言してから12年が経つと聞きました。
最近は何となくワークライフバランスという言葉がよく聞きます。男女共同参画と何が違うのかしら? まだまだわからないことだらけ。今年は何月間事業に足を運んでみようかしら。
答えが見つかるかも…。(30代・女性・まだまだ勉強するぞ)

・働く女性の家の玄関にある色紙作品はスツップの手作りなんですって。手法様々に季節ごとに変わる作品が楽しみです。(60代・女性・生涯学習派)

「男女共同参画都市」青森宣言

私は私を大切に思うのと同じ重さで
あなたを大切に思う

性別を超え
世代を超え
時代を超え

人と協調し 人を信頼できる
誇り高い人間でありたい

すべての人の自立と平等をめざして
青森はここに「男女共同参画都市」を
宣言します。

平成8年10月22日 青森市